

令和8年4月9日(木)、4月16日(木)付南日本新聞が掲載されましたので、紹介します。

に昨年度、生物生産科を卒業した先輩の記事

県立農大校 73人が入学 定員充足率59%、10%改善



鹿児島県立農業大学の新生を代表しあいさつする川口映美さん
＝8日、日置市

日置市の鹿児島県立農業大学校で8日、2026年度の入学式があった。養成部門68人、研究部門5人の計73人が、農業の担い手を

目指し新たなスタートを切った。養成部門は前年度から12人増え、定員充足率は59%（同10%増）となった。式では、中村育生校長が「日本一の農業大学校と自

4月9日(木) 7面

負している。チャレンジ精神と信念を持ち、着実に進んでほしい」とエール。野菜科の川口映美さん(18)が代表し「誇りと責任を持ち農業に励む」と誓った。養成部門は農・畜産の2

学部7学科あり、充足率100%の肉用牛科(定員25人)を除き定員割れ。花き科への入学は1人にとどまった。農業系高校の出身者の割合は68%、県外出身者は神奈川県や沖縄県などから計12人だった。

県立農大校は1978年設立。学生は2年間の寮生活を送り、農業の技術や経営知識を身につける。前年度の入学人数は、現在地に転じた2003年以降で最も少なかった。

(吉窪颯太)

サロン

鍛えた精神力 農業を支える



○：日置市の鹿児島県立農業大学校

に入学した川口映美さん(18)は高

校時代、重量挙げに打ち込んだ。筋肉量とともに鍛えた精神力を生活で忙しい日々となるが「最近では鍛えていないので、体力不足を感じたらトレーニングを再開するかも」と

家は非農家。薩摩中央高校前向きだ。(吉窪颯太)

だと思おう」と笑う。

○：入学式では、新生

を代表し活躍を誓った。将来的に指導員として農業に

関わりたいといい、在学中の資格取得を目指す。寮生

活で忙しい日々となるが

「最近では鍛えていないので、

体力不足を感じたらトレーニングを再開するかも」と

家は非農家。薩摩中央高校前向きだ。(吉窪颯太)

だと思おう」と笑う。

○：入学式では、新生を代表し活躍を誓った。将来的に指導員として農業に

関わりたいといい、在学中の資格取得を目指す。寮生活で忙しい日々となるが

「最近では鍛えていないので、体力不足を感じたらトレーニングを再開するかも」と

家は非農家。薩摩中央高校前向きだ。(吉窪颯太)

4月16日(木) 6面